

第10回 IDEHA雪崩事故防止講習会(クラス1)

今回で10回目を迎えるIDEHA雪崩事故防止講習会。

ツアー中に発生した雪崩を機にスタートした雪崩事故防止講習会も、節目の年になりました。

今回の節目を迎え、プロスキーヤーそして国際山岳ガイドの佐々木大輔氏をお招きして、

記念講演を企画いたしました。

また講習では、前回好評だった若山氏の、気象、積雪、雪崩の発生までをご担当して頂きます。

そして鈴木氏の、毎年新しい情報・技術を取り入れた講習は、道具が進化している中でとても重要です。

自分の身を守るため、仲間を守るため、皆様の講習会への参加をお待ちしております。

開催日 11月14日(日)

開催時間 AM10:00~PM17:00

講習会場 やまぎん県民ホール(スタジオ1) ※山形駅西口すぐ

参加対象 雪山を愛する皆様

定員 70名(※定員になり次第締め切らせて頂きます。)

講習料金 3,000円

準備品 筆記用具、昼食(お弁当持参・外食可)

お申込み IDEHAホームページ申込みフォーム・メール・FAX等でお申し込み下さい。

〆切 11月10日(水)

講習内容&タイムスケジュール

受付 AM9:30~9:50(スタジオ1にて)

①「冬季の気象と降雪・積雪の変化と雪崩の発生」 AM10:00~12:30

1、気象の基礎(身近な現象を交えて理解)・2、冬の気象(特殊な位置にある日本列島と天気の関係を知ります)・3、降雪と雪崩(雪の積もり方が雪崩の危険性を高めます)、この3部構成で気象と雪崩の関係性を理解します。全国で定評のある若山氏の講習を受講できるチャンスでもあります。

2021年12月の実技講習を受講される方は、この講座を受講することが条件となります。

日本勤労者山岳連盟全国雪崩講習会技術顧問・気象予報士 若山 望氏

②「雪崩ビーコン及びサーチ&レスキュー」 PM13:20~16:00

バックカントリーに立ち入れれば、雪崩に巻き込まれる危険性は0%ではありません。雪崩ビーコンを持っているというだけでは生存救出に結び付かない事例も出てきています。日本での実情と雪崩事故が起きてしまった場合の捜索手順・方法などを知ることが重要になります。

2021年12月の実技講習を受講される方は、この講座を受講することが条件となります。

日本勤労者山岳連盟雪崩テキスト編集委員・全国雪崩講師 鈴木 孝氏

③記念講演「柵池雪崩事故救助活動から学ぶ」 PM16:20~18:00

国内・海外等で活躍している佐々木大輔氏をお招きしての記念講演。

柵池の雪崩事故の救助活動での体験は、実に学ぶことの多い雪崩事故でもありました。

陣頭指揮をとって救助活動に当たった佐々木氏の思いを、皆様に感じて頂ければと思います。

2021年12月の実技講習を受講される方は、この講座を受講することが条件となります。

国際山岳ガイド 佐々木 大輔氏

コロナ対策に関して

※会場は150人収容の会場を80人で使用いたします。

※当日は検温と体調チェック表の記入をお願いしております。

※体調の優れない方や発熱のある方は、講習会の参加を見合わせていただきますようお願いいたします。

※感染者が急増するなど、突然講習会が中止になる場合がございます。予めご了承願います。

※2020年にクラス1を受講された方は基礎講座免除で実技を受講することが出来ます。

※やまがた県民ホール〒990-0828山形市双葉町1丁目2-38 TEL023-664-2220

※雪崩講習時昼食を12:30~13:20の間で昼食を挟みます。

※駐車場は近くにコインパーキングがあります。各自でのお支払いになります。

お申込み・お問合せ IDEHA 担当:石沢

URL: <http://www.ideha.jp> E-mail: ideha@khaki.plala.or.jp TEL:090-7067-0667